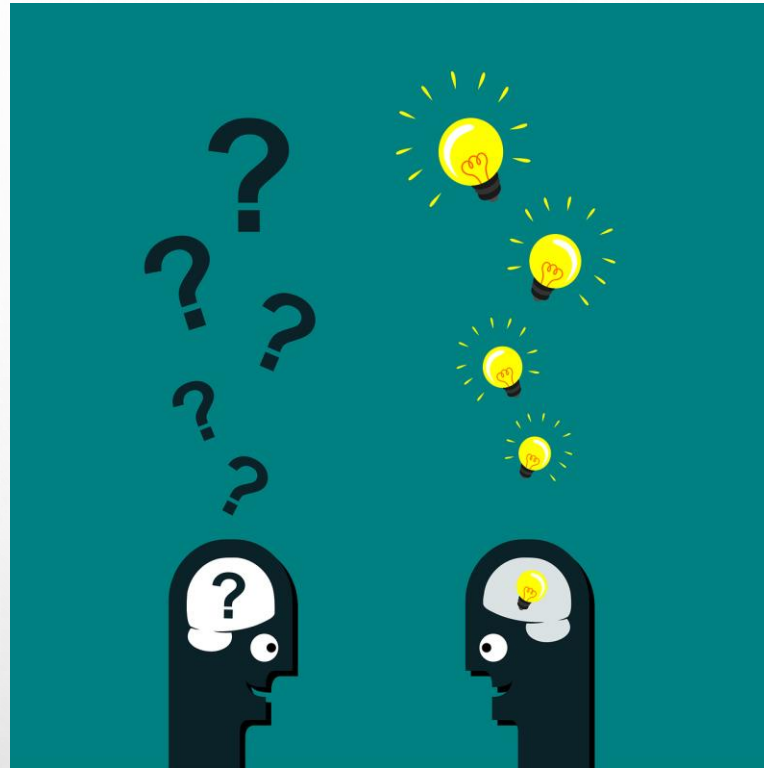


TOC流問題解決の極意

「良い問い」と「悪い問い」とは？

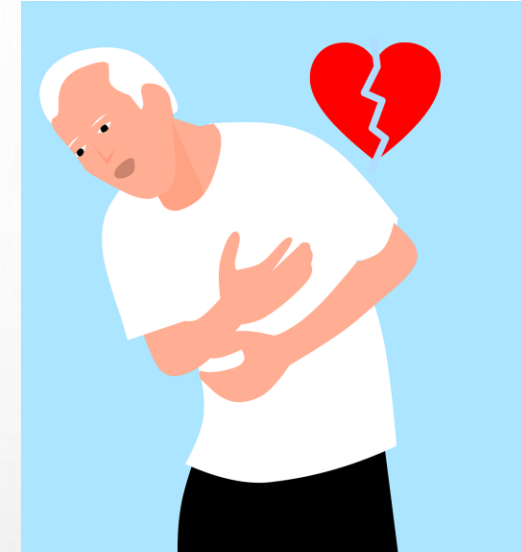
学ぶことの最大の障害は教えることである



教えることは自分で答えを見つける機会を永久に奪ってしまう
人が学ぶための唯一の方法は
「自分で論理的に考えて答えを見つけ出すこと」
人が考えるようになるためには「！」よりも「？」の方がよい

質問には気を付ける

下手な質問をすると、相手を責めたり、心を傷つけたりする



悪い質問とは

「問題解決につながらない、問題解決から遠ざかる問いである」

悪い質問の典型的状況

- 問題解決につながらない
- 問題解決から遠ざかる
- 相手の言い訳を引き出してしまう
- 相手が自分を責めて、落ち込んでしまう
- 相手の怒りを買ってしまう
- 人間関係が悪くなる

「なぜ？」という質問には注意が必要

「なぜ？」と質問されたら自己防衛本能が発動する

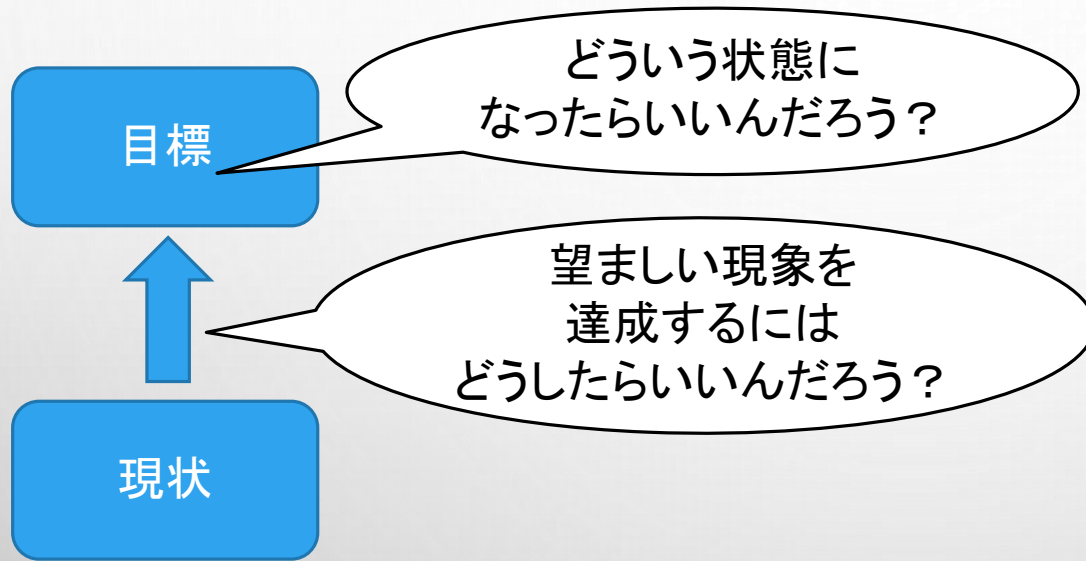


人には自分を守る「自己防衛本能」がある
人間は「自分を守る」という本能で生き残り、進化してきた

誤った問いから正しい答えは得られない

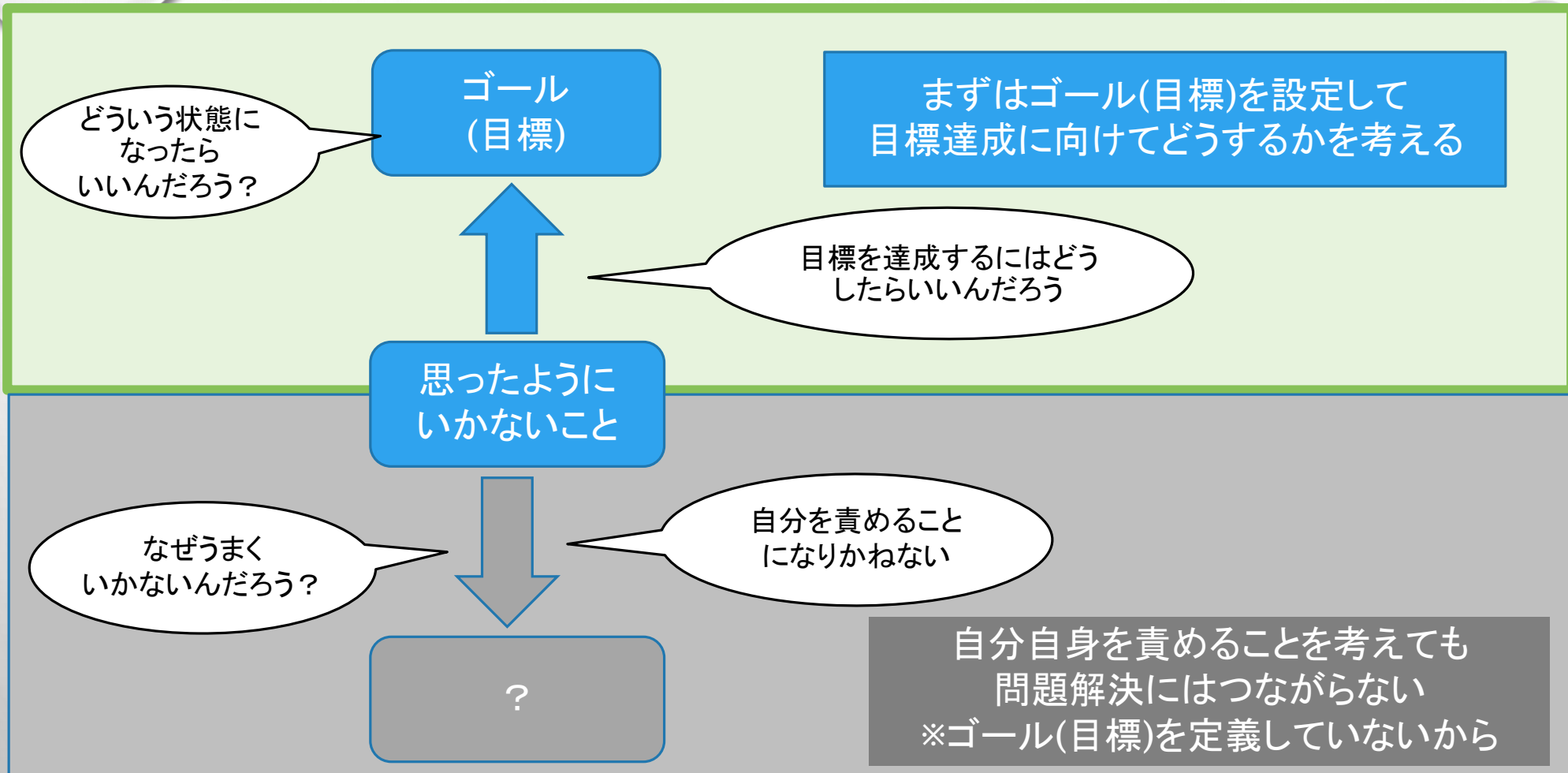
問題とは何か？

問題とは「現状と目標のギャップである」 JIS規格より



問題設定がなければ、問題解決はあり得ない

失敗したときの2つの選択肢



うまくいかなかった理由を見つけても、
目標を達成できるとは限らない

変えられる未来に集中する質問

戦略が上にあって、戦術が下にある



戦略(S)とは「なにのために」という答え

戦術(T)とは「どうやって」という答え

「どうやって」でやることは「なにのために」を実現するのに
十分になっていなければならない

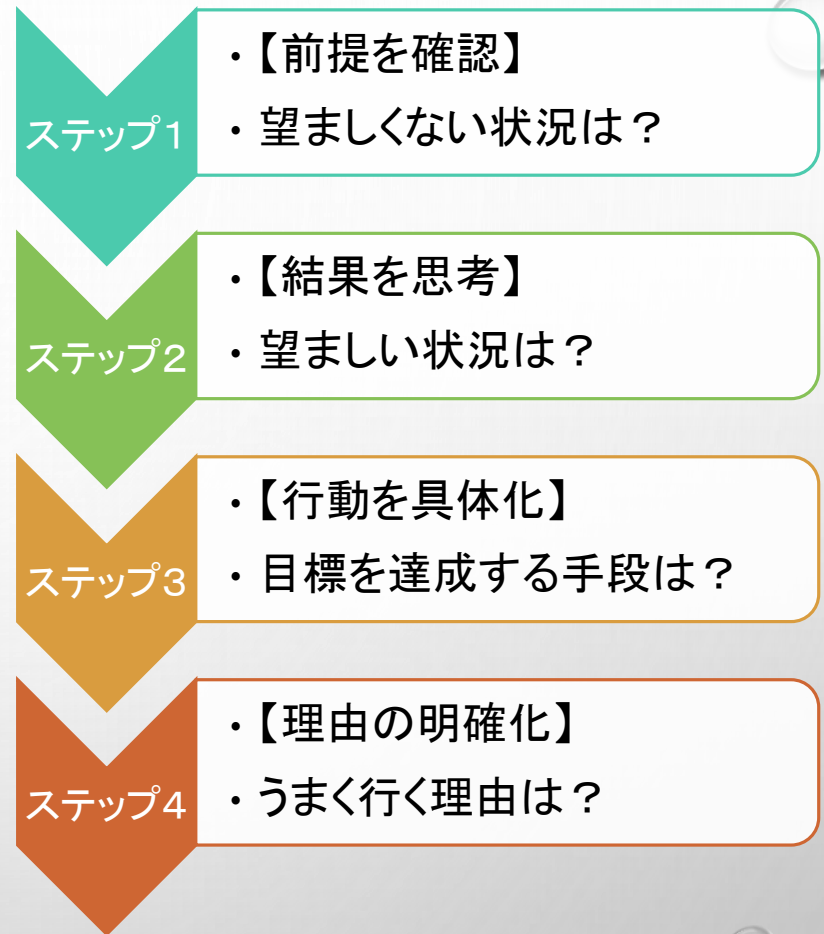
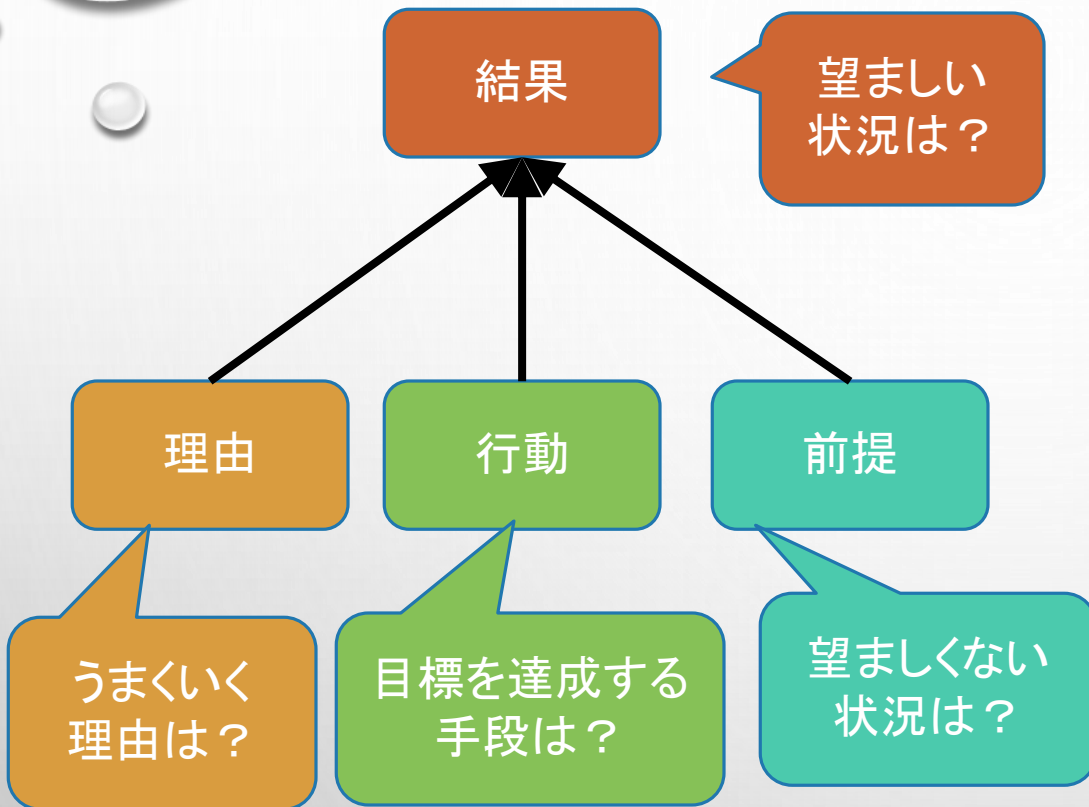
変えられない過去ではなく、変えられる未来に集中する質問
と言っても自分で一から作るのは難しい

↓

問題解決の公式集「[戦略と戦術のツリー](#)」

全てのアクションは大小に関係なく、
「なにのために？」「どうやって？」と質問しなければならない

「良い質問」を作るステップ



原因を探っても問題は解決しない！！！！

機械の場合、目標が自明(設備が動く)なので原因を探れば問題は解決する。
なにの目標を達成したいの？という問いをしてあげる。